

平成23年度事業計画

1 運営方針

防災品の総合的な品質管理及びその適正な普及等を行うことにより、火災による国民の生命・財産等の被害の抑制・減少に貢献し、もって社会公共の福祉の増進に寄与するという当協会の社会的使命を深く認識し、より効率的な防災性能確認試験業務及び防災ラベル交付業務を推進するとともに、防災品の社会的信頼性の確保に資するため関連事業者への指導等品質管理業務の推進並びに防災に関する技術開発業務及び普及・広報業務の進展を図るものとする。

特に、平成23年度においては、新公益法人制度への移行を踏まえ、「民の公益」の増進という視点から当協会の意識改革・業務運営改革を進めるとともに、防災品の幅広い使用の拡大に向けて、品質管理指導を徹底し、防火・防災思想のさらなる普及・広報等に努める。

2 事業

(1) 共通事項

- ア 新公益法人制度の趣旨に基づく意識改革・業務運営改革を促進するため、当協会役職員・評議員等を対象として必要な研修等を行う。(新規)
- イ 新法人移行後の業務運営が円滑かつ適正に行われるよう、協会内部規程等について総合的な見直しを行うとともに、文書等の情報管理体制を徹底する。(新規)
- ウ 品質管理本部を中心とした品質管理に関する総合的な企画・調整を通じ、防災品の品質管理指導の徹底を図る。
- エ 部会の構成・運営を見直し、会員と一体となった防災品の品質向上及び普及の促進を図る。(新規)
- オ 新公益法人制度を踏まえ手数料のあり方について検証を進め、その結果に基づき業務改善の推進を図る。
- カ 新法人への移行に対応して、来客等対応スペース及び職場環境の整備・改善を図る。(新規)

(2) 技術業務

- ア 防災製品の開発及び防災性能基準の検討を行う。
 - (ア) 寝具類の防災性能基準の検証結果に基づく防災性能試験基準の改正
 - (イ) 防災作業服、建具類についての認定基準の制定及び認定業務の推進
 - (ウ) 「消防隊員個人防火装備のあり方に関する検討会」の報告を踏まえ、消防隊員の防火装備についての防災製品化の検討(新規)
- イ 試験・認定業務に係る業務管理システムの見直し・更新により、業務の効率化を図る。(新規)
- ウ 海外の防災規制・規格の情報収集と分析を行う。(新規)
- エ ISO/TC94/SC14等消防隊員用個人防護装備に関連する審議に対応する。

(3) 試験業務

- ア 防災薬剤 HBCD 代替の動きに伴う試験申請の増加に対応した試験実施体制を整備する。(新規)
- イ 品質管理等に係る試験の業務処理の一層の迅速化を図る。

(4) 管理業務

- ア 品質管理指導の一層の徹底・強化により、防災品の信頼性の確保及びさらなる品質の向上を図る。
 - (ア) 抜取・試買件数の増加
 - (イ) 定期調査・随時調査の拡充
 - (ウ) 防災物品に係る不適合等に対する措置に関する規程の運用の徹底 (新規)
- イ 防災品ラベルの交付業務について、さらなる効率化を図る。
 - (ア) 防災ラベル印字業務のさらなる効率化
 - (イ) (ア) に繋がる防災品ラベルの仕様の改善
- ウ 防災事業者に係る技術等研修の拡大実施を図る。
 - (ア) 防災性能試験法等の技術向上に向けた講習会の開催 (新規)
 - (イ) 防災業務講習会の拡大推進
- エ 防災加工専門技術者講習会、再講習会の開催及び実施方法等の見直しを図る。

(5) 広報・普及業務

- ア 消防機関、防災ボランティア、住民防災組織、消費者団体、会員等と連携して防災品の普及を促進し、住宅防火対策等の推進を図る。
 - (ア) 防災品普及セットの配布等を通じた普及促進及び常設展示の拡大 (新規)
 - (イ) 防災講座の拡充
 - (ウ) 消防機関が行う住民向け防災研修支援資機材等の提供事業の拡充
 - (エ) 消防関係各種会議の参加
- イ 防災品取扱い店舗情報の拡充を図る。
- ウ 地域における展示会等を含む各種イベントに参加し防災の普及を図る。
- エ 既存の広報媒体 (ポスター、防災ニュース等) について、広報・普及効果を検証し、内容・配布先等を見直し効率化を図る。(新規)
- オ 協会のホームページの掲載内容について、消費者により分かりやすい観点から全面的な見直しを行い、防災品の広報・普及に努める。(新規)